

新時代の学びを支え、教職員の負担軽減を図るICT活用

取組の方向性

新時代の学びを支え、教職員の負担軽減を図るため、1人1台端末を活用した授業やICTを活用した校務等、学校の教育情報化の充実を図ります。

①ICT教育サポーターによる学校支援

○R4.5月から、全ての県立学校にICT教育サポーターを週1回派遣

- 支援内容：①授業支援
②環境整備支援
③校内研修支援など訪問対応

○市町村や私立学校も活用可能。
※令和5年度から、2市町と私立3校も活用している



生徒を支援するICT教育サポーター

②ICT活用授業&探究ライブラリーポータルサイト

○R4.7月に開設
296事例を公開
(R6.2月時点)

○アクセス件数は、開設
より約63,000件
(R6.1月時点)

○R5年度は、12本のインタビュー記事を追加。

ICT活用授業&探究ライブラリーポータルサイト

検索欄: なにをお探しですか?

閲覧履歴 サイトマップ

ICT活用授業の優良事例

探究的な学びの実践事例

- すべてを見る
- 年齢・学年ごとに見る
- 教科ごとに見る
- ICT機器ごとに見る

NEWS

2023.12.22
GIGAスクールインタビュー記事を公開しました。

注目 大分県立大分東環小学校小学部4年
身の回りの事物と言葉を一致させ、語彙を増やすための指導

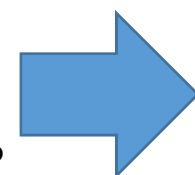
#知的障がい #国語 #iPad #Keynote

県教委 教育デジタル改革室ホームページから

③仮想化システムの運用 ～安全で快適なネット環境～

<旧システムの課題>

- 印刷ができない
- ファイル転送に時間がかかる
- ログインに時間がかかる



課題解決

<新システムの性能 R5.2月～>

- 同時ログイン数の増加
- ログイン時間の短縮
- ファイル連携操作の改善
- 直接印刷が可能

※県立学校及び15市町村の学校が活用

④OENシステム ～全教職員が利用できるパブリッククラウド～

- **いつでも**

インターネットさえつながれば、時間を選ばず利用できる。

- **どこでも**

学校や自宅、外出先でも利用できる。

- **どんな端末でも**

パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でも利用できる。

※ドライブ機能は、紛失の心配はなく便利です。ただし、重要データ（重要度B以上）は保存できません。



⑤校務支援システム ～全市町村が共通のシステムを活用～

○令和6年度から、全ての市町村、県立中学校で共通の校務支援システムが稼働します。異動時の負担軽減につながる。

統合型校務支援システム

学籍情報管理

出欠席管理

成績機能

保健機能

さらに指導要録の電子化を推進し、押印や印刷の省略を可能とする。

⑥採点補助システムの導入

～採点業務時間、約52%短縮～
県立中学校・高等学校へR5.4月より導入

- 模範解答と生徒の答案をスキャンして読み込み、システム上で採点。設問ごとに一覧表示され、一括して採点可能。
- 短縮できた時間の使い道：超勤時間の短縮、教材研究の時間、テスト後の指導の準備、部活動指導など



設問ごとの切り出し採点